

リコーリースの親会社の異動および業務提携－格付に影響なし

以下は、リコーリース株式会社（証券コード：8566）の親会社の異動、株式会社リコー（同：7752）およびみずほリース株式会社（同：8425）との3社間の業務提携についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 3月9日、リコー、みずほリース、リコーリース（当社）の3社は、みずほリースによる、リコーリース株式6,160千株（議決権所有割合20.00%）の取得を前提に3社間の業務提携（本業務提携）を行うことに合意したことを発表した。本件に伴う株主異動（20年4月下旬を予定）により、当社はリコーおよびみずほリースの持分法適用関連会社となる見込みである。
- (2) 当社においては、リコーグループの販社や販売店を通じた「リコー商流」の取引が取扱高の約4割を占めるなど同グループとの結びつきが強い。本業務提携によりリコーの連結子会社から外れることになるが、グループの重要な販売金融を担う位置づけには変化がなく、グループ間の緊密な関係は維持される方針である。また、当社の格付においては、健全な資産内容および財務構成、良好な収益性を評価している。資金調達も独自に行っており、こうした状況には変化はないと考えられる。以上を踏まえ、本件は当社の格付には影響しないとJCRでは考えている。

（担当）加藤 厚・坂井 英和

【参考】

発行体：リコーリース株式会社

長期発行体格付：AA- 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル